

じんけんぽん2021年度第1号

発行日 令和3/6/1

社会福祉法人生活クラブ
風の村 柏市地域生活支
援センター あいネット
〒277-0005
柏市柏5-8-12
教育福祉会館1階
電話: 04-7165-8707
Mail:
ainet@kazenomura.jp

目次

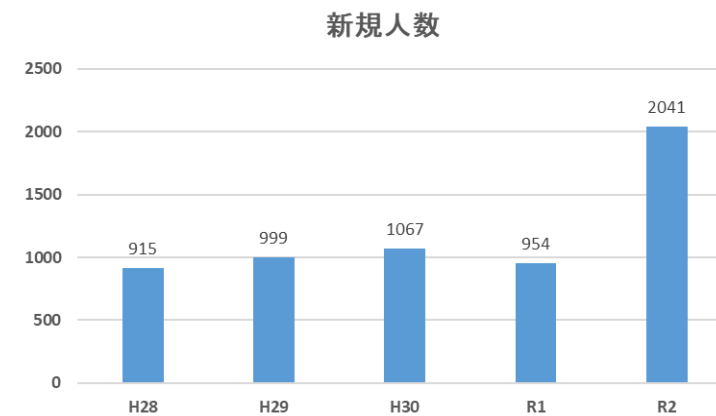
あいネット実績 報告	1
中核支援セン ター研修報告	2
あいネット就労 準備支援室より	3
お知らせ アエールワーク スより	4

梅雨の季節がやっ
てきました。気温
も不安定なので体
調管理に気を付け
ていきたいもので
す。
意識的に水分補給
をしたり、感染予
防に気を付けて散
歩に行ったり、で
きることから続け
ていきましょう。



～あいネット2020年度実績報告～

令和2年度のあいネットの実績報告です。
コロナウィルスの影響、緊急事態宣言の影響が強く現れた一年でした。
新規の相談が合計で2041人となり、例年の2倍ほどになりました。
主な原因は、あいネットで受付をしている住居確保給付金の相談が急激に増加
したためです。
住居確保給付金は新規相談がそのうち830人と大幅に増加しました。
外国籍の方の相談も増え、対応に追われました。



延相談支援件数は、生活困窮者支援が大幅に多く、15152件でした。総合相談
は延3628件でした。
コロナウィルスの影響による生活困窮者増加が目立った一年でした。
世帯では単身世帯が一番多く、次いで家族のいるその他の世帯が目立ちました。
年代では稼働年齢層（20代から50代）が大半を占めました。

年代	生活困窮	総合相談 (困窮以外)	相談合計
18歳～20代	549	111	660 (人)
30代	641	152	793 (人)
40代	692	239	931 (人)
50代～64歳	707	226	933 (人)

新型コロナウイルスの影響は現在も続いています。令和3年度も引き続きその
影響は残り、住居確保給付金などの申請なども続くと思われます。今後もあい
ネットの業務を引き続きよろしくお願いいたします。

中核地域生活支援センター研修報告

5月19日にオンラインでの研修会に参加しました。
研修会では、中核地域生活支援センター（以下中核センター）ができるまでの過程の説明がありました。

「健康福祉千葉方式」という、世代・相談内容などで分けるのではないすべての対象者への総合相談を行う「中核地域生活支援センター事業」と、当事者の視点で「オーダーメイド」施策を行うという二つの柱をもとに、地域とのタウンミーティングを重ねて「中核センター」ができたそうです。

「中核センター」の相談活動の強みとして、枠を作らずまずは動くこと、地域の関係者との関係性を重視すること、具体的な生活支援を行うことなどが挙げられていました。

国としても「重層的支援体制整備事業」という、相談者の世代や相談内容に関わらず、総合的に相談を受け止めるという事業がスタートしており、まさに「中核地域生活支援センター」の理念と重なるものがあります。

相談援助を行うにあたって相談者を孤立させない支援を行うために援助者が様々な制度の理解をすると共に相談者自身の持つ力を引き出すことと、援助者自身を知ることなどもポイントとして挙げられていました。今回の研修を踏まえて、これからの相談支援に生かしていきたいと思います。



柏市障害者等社会参加・就労支援事業

～あなたの「働く準備」をお手伝いします～



就職したけれども長続きしない、他者とコミュニケーションをとることが苦手である、何かしらの障害があるかもしれない…等
そのようなお困りを持つ方を対象とした就労支援事業を実施します。



サポート体制



就労相談

働きたいけれど自信がない、ひきこもっていてどうすればいいかわからないなど
お困りの方のご相談を承ります。ご家族からのご相談もお受けします。



職業能力評価

作業能力評価・厚生労働省一般職業適性検査など



職業準備訓練

PC訓練・ワークサンプル・認知リハビリテーションプログラム・手工芸など



就職活動支援

職場見学・ボランティア活動・履歴書などの作成指導
ハローワークなどの同行支援



就職後支援（定着支援）

就職後就労相談・職場訪問など

ご関心のある方は、メール・電話などでお問い合わせください。面接相談をご予約
いただき、就労や社会参加に向けたご希望をうかがいます。



ひきこもり家族講座

ビデオ教材と解説で分かりやすく伝えます！

第1回 私がひきこもった理由 2021年 7月14日(水)

第2回 我が子がひきこもったとき 2021年 8月11日(水)

第3回 あなたは一人じゃない 2021年 9月 8日(水)

第4回 メンタルヘルス講座① 2021年10月13日(水)

第5回 メンタルヘルス講座② 2021年11月10日(水)

＊開催時間：9時30分～12時30分 会場：教育福祉会館2階 評価・訓練室

＊参加をご希望の方は下記よりお申込みください。

柏市障害者等社会参加・就労支援業務委託 A-yell works

〒277-0005 柏市柏5丁目8-12教育福祉会館2階

TEL：04-7196-6495 FAX：04-7165-8709

E-mail：a-yell-works@kazenomura.jp



あいネット就労準備支援室より

就労準備支援室からは、就労についての情報や講座、ボランティア等のご報告をお届け致します。

家計の講座：お金どうする？

家計相談員との初コラボ

2つのグループに分け、1か月どの位支出するかを、思いつく品目を付箋に書いてもらい、それらを項目ごとに分類、名前を付けて頂きました。一つのグループは、合計121500円、もう一つのグループは、実家に同居しているグループで、総支出30000円でした。実家同居グループは、食費と家賃を加えると12万円をやや上回る金額でした。



参加者さんは、利用者さんが5名、ファシリテーターなどが4名でした。「総額（収額÷30日）で考えていたので、食費や光熱費などと支出項目ごとにやり繰りしていなかったのが驚いた」、「保険料の見直しが必要と感じた」、「一人暮らしの生活費の目安がイメージできた」、「慎ましい生活だと思った」、「実家に住んでいるので、お世話になっていることが分かった」などの感想がありました。

就労準備支援室から

職場体験場所紹介 一球会の活動から

一球会は、手賀沼の土手沿いに、冬に咲くニホンスイセンや秋に咲くヒガンバナを植える活動をして4年が経ちます。引きこもりの方々やコミュニケーションが苦手な方々などが参加し、就労へと巣立っていています。

この時期は、小さな球根を花咲くまでの大きさの球根に育てる作業をしています。今年中に植えてもいいもの、来年以降まで待たなければならないものを選別し、植え替え作業をしています。直径1cm位の球根でも、花

咲く大きさまでにするには、1年以上かかります。3年以上も待たなければならないものもあるとのことでした。また、球根の特徴で、白い花か黄色い花化が判るとのことでした。

選別された球根を、土の入ったポットに入れ、さらに土を入れる作業ですが、時間が経つにつれ作業がスムーズになり楽しそうでした。



就労準備室ではボランティア活動の他、お茶会など利用者さんがコミュニケーションをとる練習ができる環境や就労支援を提供しております。今後も利用者さんの就労自立をサポートしてまいります。